

# 発掘された鈴鹿'97~'98



1999.2.6-3.28  
鈴鹿市考古博物館

## ごあいさつ

今回の速報展は「発掘された鈴鹿'97～'98」として平成9年～10年にかけて鈴鹿市教育委員会が実施した発掘調査の成果を遺物と写真パネルにより紹介します。この展示が、いにしえの人々の暮らしに思いを馳せるとともに、現代の私たちの生活を少し振り返ってみる、そんなささやかなきっかけとなれば幸いです。

※このパンフレットには期間中に鈴鹿市内で実施された全ての調査の成果を紹介しました。したがって一部展示されない遺跡も含まれます。

### 狩と採集の暮らし～旧石器・縄文時代～

#### 郡山町 山越知南遺跡 Yamaohchi-minami Site

弥生時代1基と奈良時代2基の穴が見つかったほか、包含層から旧石器時代から縄文時代にかけてのナイフ形石器、スクレイパー、加工された剥片などがみつかりました。(調査期間1997/5/23～6/11)



山越知南遺跡 石器

### 米作りが始まった頃～弥生時代～

#### 伊船町 双児塚遺跡 Futago-duka Site

弥生時代中期の方形周溝墓が7基みつかりました。周溝の一边を共有しながら順次造られていったため、柵目のように整然と並んでいます。また、遺構は伴いませんが縄文時代草創期の有舌尖頭器も1個みつかりました。(調査期間1998/7/21～9/14)

#### 平野町 富士遺跡 Fuji Site

弥生時代中期の方形周溝墓1基が見つかりました。(調査期間1997/1/27～2/1)



双児塚遺跡 有舌尖頭器



同 方形周溝墓

#### 上野町 一反通遺跡 Ittan-dohri Site

試掘調査では弥生時代の溝や穴が見つかりましたが、本調査を行ったのは中世溝1条のみでした。(調査期間1998/2/23)

#### 長法寺町 長法寺遺跡 Cyohbohi Site

弥生時代中期の方形周溝墓が5基みつかりました。周溝からは石鏃、石小刀といった石器類が比較的多く出土しました。ほかに、鎌倉時代の建物1棟、近世以降の火葬跡もみつかりました。(調査期間1997/10/27～11/30)



長法寺遺跡 方形周溝墓



同 石器類



岸岡山Ⅲ遺跡 竪穴住居

#### 岸岡町 岸岡山Ⅲ遺跡

##### Kishioka-yama No.3 Site

丘陵の西北斜面にひしめくように建てられた弥生時代後期の34棟の竪穴住居が見つかりました。同一箇所を何度も掘り直して建て替えているのが特徴です。最大の竪穴住居の床からは荒割りされた水晶が3点みつかりました。この集落が玉作りに関係していたことを示す資料です。(調査期間1997/5/28～9/30)



岸岡山Ⅲ遺跡 水晶



同 弥生土器

## 木田町 磐城山遺跡 Banjyoh-yama Site

鈴鹿川を見下ろす台地上に営まれた集落です。弥生時代後期の大きな堀と掘立柱建物1棟のほか多数の竪穴住居がみつかりました。堀の中には多数の弥生土器が投棄されていました。また、古墳時代後期の竪穴住居も数多くみつかり、市内でも古い段階の須恵器を伴っています。(調査期間1997/9/12～1998/2/23、8/20～1999/1/20)



磐城山遺跡 全景



同堀

## 大王たちの時代 ～古墳時代～



岸岡山22号墳 前方面から後円部を望む

### 岸岡山22号墳 Kishioka-yama No.22 Tumulus

前方部を伊勢湾に向けて造られた全長55mの前方後円墳です。くびれ部の調査では形象埴輪を含む大量の埴輪片と須恵器片がみつかりました。期待された後円部頂の調査も行いましたが、すでに流失してしまったのか埋葬主体は発見されませんでした。(調査期間1997/1/27～2/26)



同 全景

## 岡田一丁目 岡田南遺跡 Okada-minami Site

古墳時代前期の土壙墓1基、後期の方墳周溝3基、竪穴住居1棟、奈良～平安時代の掘立柱建物2棟、中世の井戸3基と多数の溝等がみつかりました。土壙墓には木棺の痕跡が残り、被葬者が身につけていた碧玉やメノウ製の勾玉・緑色凝灰岩の管玉そして多数のガラス小玉がみつかりました。(調査期間1998/10/12～11/12)



岡田南遺跡 玉類



末野B遺跡 全景

### 郡山町 西高山E遺跡 Nishitakayama E Site

古墳時代後期の溝1条が検出されました。(調査期間1998/5/6～6/12)

### 石薬師町 石薬師東遺跡

#### Ishiyakushi-higashi Site

古墳の周溝3基がみつかりました。周溝からは円筒埴輪や家形・人物などの形象埴輪もみつかりました。(調査期間1998/7/6～7/7)



石薬師東遺跡 発掘風景

### 郡山町 末野B遺跡 Sueno B Site

すぐ南の谷に須恵器を焼いた窯跡がある焼き物づくりの村の遺跡です。7世紀前半の竪穴住居2棟と同後半の掘立柱建物7棟がみつかりました。掘立柱建物の大部分は柱筋を揃えて建てられています。(調査期間1998/2/23～4/16)

## 津賀町 北蟻越遺跡・津賀2号墳 Kita-arikoshi Site, Tsuga No.2 Tumulus

古墳時代前期の竪穴住居3棟と時期不明の掘立柱建物1棟が見つかりました。竪穴住居1棟から発見された赤色顔料(ベンガラ)の詰まった大型の土師器壺は珍しい資料です。津賀2号墳は南に開口する横穴式石室を持つ方墳です。副葬品として馬具・鉄鏃・須恵器・スラグが出土し、6世紀末のものと考えられます。(調査期間1998/6/8～10/9) [三重県埋蔵文化財センター調査・写真提供]



津賀2号墳 石室



天王遺跡 A区掘立柱建物群



同 竪穴住居

### 岸岡町 天王遺跡 Tennenoh Site

6世紀末～7世紀頃の幅5mの運河状の大溝と、同時期の竪穴住居13棟、7世紀後半～8世紀の掘立柱建物21棟がみつけられました。特に掘立柱建物3棟が近接して「コ」状に配置された一群は、一度火災にあい焼失した後再び同じ配置で建て直されていることから一般住居でなく何らかの公的な性格を持つ施設とみられます。(調査期間1997/4/4～8/11:第3次調査)

古墳時代後期の溝がみつけられました。(調査期間1998/12/21～12/25:第4次調査)

## 役所と寺～奈良・平安時代～

### 広瀬町 伊勢国府跡 Ise Kokufu (Provincial Center) Site

国府政庁遺構の北北西約250mの地点での調査です。南北棟の礎石瓦葺き建物1棟の基礎地業の跡とそれに伴う足場穴や幅広の溝がみつけられました。溝内からは何らかの災害で倒壊したとみられる建物の屋根が瓦葺きの状態をとどめたままみつけられました。全国にもあまり例のない貴重な発見です。鬼瓦片もみつけられました。(調査期間1997/10/16～2/10:第8次調査)

第8次調査で発見された南北棟の建物の東側に新たに3棟の礎石瓦葺き建物の基礎地形跡がみつけられました。このように緊密に瓦葺き建物が建ち並ぶ施設は、政庁以外では他に例が無いものです。今のところ貴族の身分にあたる伊勢守(長官)の館ではないかと考えています。(調査期間1998/9/1～12/28:第10次調査)

伊勢国府政庁遺構の南面での調査です。西脇殿の一部と政庁正面の築地側溝がみつけられました。これで、門の位置も推定可能になり、政庁の範囲がほぼ確定しました。また、政庁の東側にも多数の区画溝があり何らかの施設があったことが考えられます。(調査期間1998/2/23～3/20:第9次調査)



伊勢国府跡 礎石建物倒壊屋根



同 鬼瓦



同 刻書須恵器



同 建物群基礎地形

### 国分町 伊勢国分寺跡 Ise Kokubun-ji Temple Site

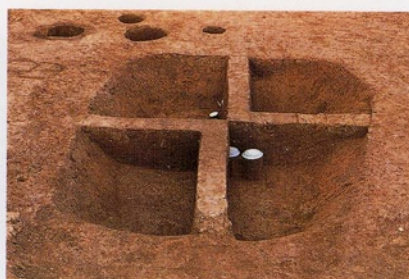
国史跡伊勢国分寺跡の南側に隣接する地点の調査では、南門のすぐ前と推定される場所から参道の側溝とみられるL字状に曲がる溝がみつけられました。さらに、門の改修・解体に伴う足場穴ではないかともみられる掘立柱列もみつけられました。(調査期間1997/3/7～4/25)

博物館の外周道路に係る調査では、確認されている河曲郡衙正倉の倉庫群北列に新たな1棟がみつけられ、11棟から構成されることがわかりました。また、倉庫群の中でも大型の2棟は柱間が4×4間の規模であることも確認されました。その他、中世以降の道路状遺構もみつかっています。(調査期間1997/9/18～12/4)



伊勢国分寺跡 柱穴列

国史跡伊勢国分寺跡の東に隣接する地点での調査では国分寺廃絶後に建てられたとみられる建物の小型の柱穴が極めて多数見つかりました。土壙墓も1基みつき、数珠に用いられた水晶玉、青磁の碗・皿、青白磁の小壺が副葬されていました。国分寺にゆかりの深い有力者のお墓とみられます。(調査期間1997/9/29～2/14)



伊勢国分寺跡 土壙墓



同 副葬品

### 国分町 狐塚遺跡 Kitsune-duka Site

博物館南側の河曲郡衙正倉の「コ」字状に並んだ倉庫群の内側に当たる地区の調査では、小型の掘立柱倉庫1棟が見つかりましたが、大部分は広場であったことが確認できました。その他、竪穴住居2棟もみつかりました。(調査期間1998/8/3～8/9)

博物館進入道路・駐車場建設の際、正方位に柱筋を揃えて建てられた掘立柱建物群が調査されています。その建物のうち南北に長い建物1棟の続きが見つかりました。(調査期間1998/3/4～3/16)



狐塚遺跡 倉庫群



同 竪穴住居

### 国分町 国分南遺跡 Kokubu-minami Site

奈良時代の竪穴住居2棟と掘立柱建物4棟、中世の掘立柱建物1棟が見つかりました。また、融けた銅が付着した炉壁がまとめて捨てられた方形の穴が見つかりました。類例から梵鐘などを鑄造するためのものではないかとみられています。(調査期間1997/4/24～5/31)



国分南遺跡 鑄造遺構



南浦遺跡 全景



同 掘立柱建物群

### 国分町 南浦遺跡 Minamiura Site

白鳳寺院の推定地内での調査です。狭い範囲から15棟もの大型の掘立柱建物がみつかりました。建物はほぼ正方位で柱筋を揃えた2～3棟がセットとなり、少なくとも4回以上建て替えられています。その性格を巡っては寺院の僧坊あるいは豪族の居宅など説があります。寺院に関連した鴟尾や鬼瓦片もみつかりました。(調査期間1997/6/17～8/16)

### 国分町 国分遺跡 Kokubu Site

尼寺跡推定地である国分町の集落内での調査です。平安時代中頃のゴミ穴が見つかり、灰釉陶器の碗や皿が出土しました。寺院を運営する何らかの施設でしょう。(調査期間:1997/2/21)

### 国分町 国分東遺跡 Kokubu-higashi Site

奈良時代の掘立柱建物1棟、平安時代のゴミ穴、奈良時代から中世にかけてのたくさんの溝が見つかりました。(調査期間1997/9/25～10/9)

### 国府町 三宅神社遺跡 Miyake-jinja Site

伊勢国総社と推定されている三宅神社の境内での発掘です。奈良時代の掘立柱建物1棟、穴1基と、神社に伴うとみられる中世の溝2条が見つかりました。(調査期間1998/5/8～5/15)



国分東遺跡 全景

## 武士駆ける～鎌倉・室町時代～

### 岡田一丁目 岡太神社遺跡 Okada-jinja Site

市内社岡太神社に隣接する地点の調査です。中世の溝7条がみつかりました。(調査期間1998/3/2～3/6)

### 国府町 中尾遺跡 Nakao Site

中世の屋敷跡がみつかりました。掘立柱建物の南東隅には汚水処理用の穴があり、そこから排水路が谷に向かって延びています。穴には山茶碗が多数廃棄されていました。山茶碗の底に字名と同じ「中尾」と墨書されたものがあります。(調査期間1997/3/12～3/21)

### 十宮四丁目 神戸中学校遺跡

#### Kambe Junior High-school Site

室町時代から江戸時代初め頃の井戸3基、溝、穴などがみつかりました。出土遺物は瀬戸・美濃の陶器や土鍋があります。井戸の1基からは漆器の椀2個がみつかりました。市内では珍しい遺物です。(調査期間1998/8/17～8/31)



中尾遺跡 全景



神戸中学校遺跡 全景

### 遺跡位置図

時代区分	主要遺跡		
11000	旧石器	山越知南遺跡	
	縄文(草創期) (早期) (前期) (中期) (後期) (晩期)	双児塚遺跡	
弥生(前期) (中期) (後期)		双児塚遺跡 長法寺遺跡 磐城山遺跡 岸岡山Ⅲ遺跡	
		古墳(前期) (中期) (後期)	岡田南遺跡 北蟻越遺跡 岸岡山22号墳 津賀2号墳 末野B遺跡 天王遺跡
			奈良
平安			
	鎌倉	中尾遺跡	
室町	神戸中学校遺跡		
江戸			

